

製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

A1051 名鉄3400系・スカーレット 4両セット

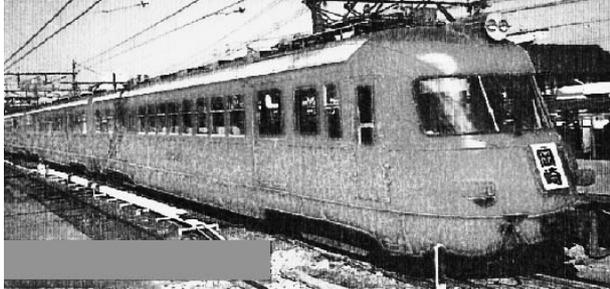
予価: 14,000円(税別)

JANコード: 113646 カarton内入数: 12

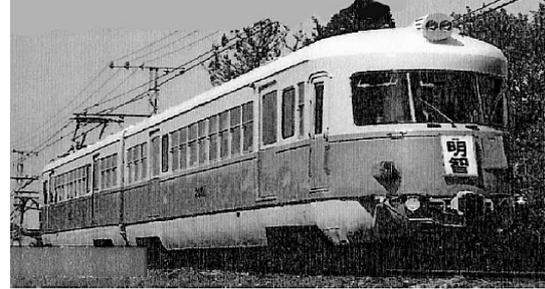
A1054 名鉄3400系・グリーン 2両セット

予価: 8,600円(税別)

JANコード: 113677 カarton内入数: 外箱24 内箱12



A1051



A1054

※写真とは
プロトタイプが
異なります

商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 ブックケース入り(A1051)/紙サック箱入り(A1054))																			
実車	3400系は1937年、名古屋鉄道が東部線の特急用に投入した流線型電車で、2両×3編成が登場しました。1950年に中間電動車モ3450、1953年にはサ2450が追加され、4両固定編成で名古屋本線の特急・急行に活躍してきました。1967年には更新が始まり、前面窓の中枠が撤去され連続窓風の曲面ガラス化、側面窓枠のアルミサッシ化などが施されました。1984年に連結化工事を施し、他のAL車(自動進段制御の吊り掛け駆動車)と併結運転されるようになりました。1992年鉄道友の会よりエバーグリーン賞を受賞し、新造時の塗色に復元されました。1994年には冷房改造、1997年には台車をFS36に交換し、台車周りの部分のスカートが大きく切り取られました。2002年8月限りで運用を離脱し、現在舞木検査場にて保管されています。																			
商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロエース 私鉄電車シリーズの更なる充実。 ・「いもむし」の愛称で親しまれたユニークな流線型ボディを持つ名鉄の名車を、プラ製初製品化。 ・独特のほっそりした顔つきを狭幅の動力ユニットを新規作成して忠実に再現。 ・前面窓は更新後の大型窓。 ・ヘッドライト、テールライト点灯。 ・連結化工事で取り付けられた前面のジャンパー栓受けやホースを別パーツでリアルに再現。 ・床下が引き締まる黒染め車輪を採用。 ・屋根上はヒューズ箱、パンチレーターその他ランボードも別パーツ化。 ・シールドビーム2灯化されたヘッドライト。 ・床下カバーの台車付近は、走行性能確保のために実車よりも切り欠きが大きくなります。 																			
A1051	<ul style="list-style-type: none"> ・スカーレット塗装、4両固定編成時代。 ・AL車との連結化工事が行われた1984年以降がプロトタイプ。 ・台車はD-16(サ2452のみFS-13)として、A1054とは作り分け。 ・非冷房時代のスリットが無い床下カバーを専用部品で再現。A1054とは作り分け。 <p>編成</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">◇</td> <td style="text-align: center;">モ3402</td> <td style="text-align: center;">サ2452</td> <td style="text-align: center;">モ3452</td> <td style="text-align: center;">ク2402</td> <td style="text-align: center;">◇</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">←ライト</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">ライト→</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">モーター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	◇	モ3402	サ2452	モ3452	ク2402	◇		←ライト			ライト→			モーター					名古屋鉄道株式会社商品化申請中
◇	モ3402	サ2452	モ3452	ク2402	◇															
	←ライト			ライト→																
	モーター																			
A1054	<ul style="list-style-type: none"> ・濃淡のグリーンに塗装変更された末期の2両編成。 ・冷房改造され、台車がFS-36に交換された末期の姿がプロトタイプ。 ・台車をA1051とは作り分け。 ・冷房改造され、スリットが空けられた床下カバーを専用部品で再現。A1051とは作り分け。 ・お求めやすい2両セット <p>編成</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">◇</td> <td style="text-align: center;">モ3402</td> <td style="text-align: center;">サ2452</td> <td style="text-align: center;">◇</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">←ライト</td> <td style="text-align: center;">ライト→</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">モーター</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	◇	モ3402	サ2452	◇		←ライト	ライト→			モーター			名古屋鉄道株式会社商品化申請中						
◇	モ3402	サ2452	◇																	
	←ライト	ライト→																		
	モーター																			
付属品	行先ステッカー																			